

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：学校給食センター

シート No.：45

作成日：2026. 5/13

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 学校教育を充実し、次世代を育てる	郷土への関心を高め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うため、地場産の米や野菜等の地域の食材を積極的に活用する地産地消を推進します。 地場産物を活用するうえでの課題としては、品質、量などが天候に影響を受けることや、市場価格より高価になります。	常総市産及び県内産を合わせた地場産物使用率を 83%に定め、地場産物の生産者の方々の協力を得ながら、より多くの常総市産の食材を優先して使用し、郷土への関心を高め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うことを目的とした安全安心な学校給食を提供します。
	施策	1 学校教育		
	施策内容	学校給食の充実		
	その他、拠法令及び分野別計画等			
事務事業名		地場産物活用事業		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	地場産物会議（豊岡） （R8・9・10）	学校給食で使用可能な野菜の検討を、地場産物生産者と実施します。	会議開催回数（回）	1 1	1 1	千円	千円
②	地場産物会議（玉） （R8・9・10）	学校給食で使用可能な野菜の検討を、地場産物生産者と実施します。	会議開催回数（回）	1 1	1 1	千円	千円
③						千円	千円
④						千円	千円
⑤						千円	千円
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度 目標値
						令和9年度
地場産物活用率 （11 月地産地消強化月間のうちの 4 日間）	地場産物活用率（％）	茨城県では、第 4 次いばらき 21 プランにおいて、「学校給食における地場産物活用率が 50%を超える市町村の割合」を 100%とすることを目標として、その活用状況を把握するための調査を実施していることから、地場産物活用率を指標に設定した。目標値の根拠は、当市の R7 年度活用率が 80.5%であったため、これを根拠とした。	80.5%	83%		85%

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト	
	☐ 活動	
	☐ 成果	
	☐ その他	